

新潟県

平成6年

公民館月報

3月

第493号

特集 公民館体制の問題を探る

蓮花寺の大杉

大字蓮花寺の鎮守七社宮の境内
にあつて、樹齢約千二百年、周
田一二呎、樹高約五〇呎、県の
指定天然記念物である。

毎年、五月第三日曜日に開催

する三島町西山連峰登山マラソ
ンでは、コースにこの神社の石
段百数十段があり、参加者は大
杉のすく脇を通り抜けていく。



（写真・資料提供）
三島町公民館

第四回理事会開催

来年度の事業計画を検討

事務局長引退を表明

平成六年二月二十二日(火) 第四回理事会が新潟市中央公民館で開催され、来年度事業の計画

審議や当面の諸問題の検討など盛りたくさんの協議事項について、論議がかわされた。

あるう」との発言があり、新しい年度にはこの問題についての検討が必要となろう。

このように、特色ある大会にできるものと思われる。(開催要項案は次号に掲載の予定)

四、現事務局長の引退を了解

昭和六十一年以来非常勤嘱託として事務局長の任にあった上

第三回編集委員会開催

月報の充実策を検討

二月十日(木)、平成五年度第三回編集委員会が新潟市中央公民館203号室で開催された。今年度の「公民館月報」の編集発行についての反省ならびに来年度の充実策が話し合われた。

第一に、本紙の性格が公民館連合会の機関紙であることを鮮明にし、公民館運営の情報提供

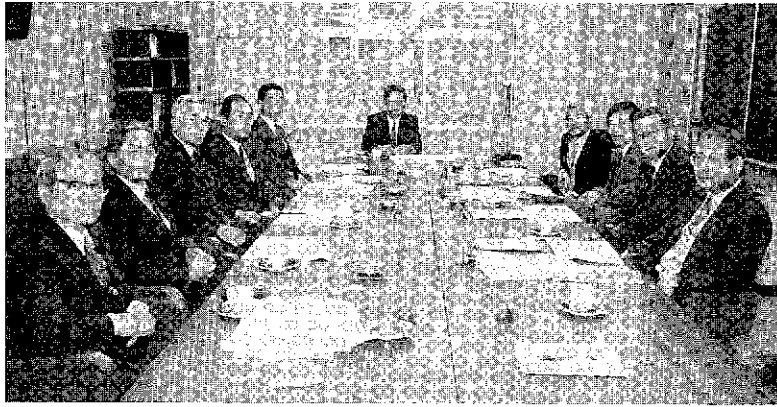
に關しより一層の充実刷新を図る。そのため、文字の詰込みは止むを得ないものとして読者の理解を得ることにした。

第二に、上・中・下越地区公連の研究會や公連組織の活動についての情報提供は従来にも増して密にするとともに、郡市公連規模のプロックでの研究会や問題点などの紹介についても取り上げるなどの連絡提携を密にする必要がある。

第三に、今年度の特集シリーズ「公民館の今日的な課題を迫って」は来年度も継続する必要がある。

なお、現在の編集委員諸氏は今年度で任期満了になるので、ここに話し合われたことがらはすべて来年度以降の編集委員に申しつぎすることにしよう。二年間の委員活動の功に感謝して閉会した。

* * * * *



一、新年度の重点案

新しい時代の公民館の在り方を求めて、

- (1) 多様な学習機会の開発に関する工夫。
- (2) 地域住民に対する均質な教育的・文化的サービス提供の方策の検討。
- (3) これらのための公民館施設設備や職員体制のあり方と工夫。

を重点に事業を進め

二、予算にかかわる問題

過去にも何度か問題が提起されたことではあるが、「県補助金ならびに市長会・町村会分担金への依存は当面やむを得ないことではあるが、今後自立の方途を考える必要が

ある」との発言があり、新しい年度にはこの問題についての検討が必要となろう。

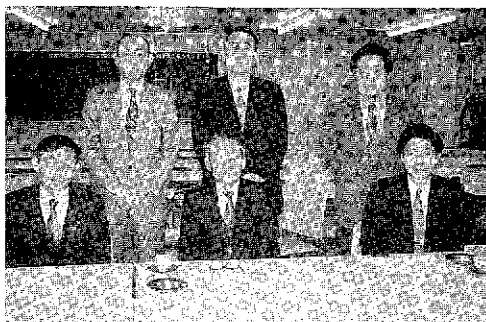
三、第45回県公民館大会開催要項の検討

大会は七月二十九日(金) 主管理は中魚沼・十日町市社会教育振興會が当たることは既報のとおりであるが、開催要項について検討がなされた。

テーマについては、前記新年度の重点を牛かし、「新しい時代の公民館の在り方を考える」とし、主として公民館の体制について考えるもの。

なお、主管公連の希望により①分科会方式の採用(館長部会、職員部会、公運審部会)の三分科会七分散会を構想)

②大会前日(二十八日)午後七時から「下日町青年学級」(いわゆる「青年学級振興法」に基づいて開設している全国でも数少ない青年学級)のある日なので、つとめて、前泊して参観することをお薦めする。



なお、現在の編集委員諸氏は今年度で任期満了になるので、ここに話し合われたことがらはすべて来年度以降の編集委員に申しつぎすることにしよう。二年間の委員活動の功に感謝して閉会した。

県大会準備会開催 中魚、十日町市社教振で

去る2月21日(例)、十日町公民館を会場に、第45回新潟県公民館大会の準備会が開催された。一市三町村の代表者により大会の開催案の検討がなされた。

従来の公民館大会とは一味違った大会にしたいという熱意のあふれたものであり、崖っぷちに立つ今日の公民館の在り方を究明するには、公民館の施設管理や職員の体制にメスを入れ

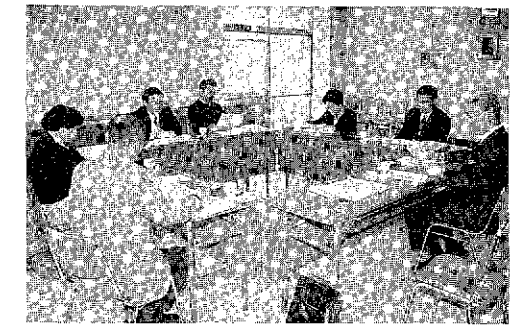
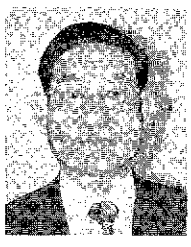
去る2月21日(例)、十日町公民館を会場に、第45回新潟県公民館大会の準備会が開催された。一市三町村の代表者により大会の開催案の検討がなされた。

従来の公民館大会とは一味違った大会にしたいという熱意のあふれたものであり、崖っぷちに立つ今日の公民館の在り方を究明するには、公民館の施設管理や職員の体制にメスを入れ

視点

今、公民館の存在が問われておられます。それは公民館が貸館屋になつたのではないかと

いう批判であり、市民も教育機関としてのイメージよりも施設利用の場として公民館を見ているように推察され



現代的課題に挑戦

市民学級—そのき

江部 忍

を事業内容の充実に もっと注いで行かなければと思つています。

曾野木地区公民館の運営審議会で「曾野木地区婦人学級」のメンバーの固定化と事業の

マンネリ化が指摘されました。また、男性も学べる学級の開設をという意見もありました。

そこで、男女共生社会をめざす今日ですから、男女が共に学ぶ、市民の皆さんは、自身の健康や趣味活動に

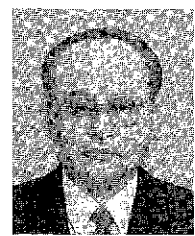
は、現代的課題の学習が必要といわれております。

市民の皆さんは、自身の健康や趣味活動に

関心を示しますが高齢化社会、男女共生社会、国際交流そして環境問題などといった社会性・公共性の高い課題になると敬遠しがちになります。公民館が、これらの現代的課題を

日本語教室から

相沢 勇



「先生、交通の円滑を妨げる」ってどういうことなの？

「ある日の日本語教室の一幕です。この日本語をわかりやすく説明していたら、途中で「馬」という字が飛び出し、いつのまにか馬のいななきの大合唱になってしまいました。いやはや何とも屈託のない教室です。

ひろば

先日は初級の奥様方も一緒に

なつて昼食会をしました。日本料理も加えて四つこの国の料理が食卓を飾りました。奥様方は自分の国の自慢の料理づくりがとても楽しんでました。

キムチづくりの講習会が開かれました。講師は日本語教室に通う若い奥様でした。すっかりした日本語による不安のない講師ぶり

で、料理ともどもとても好評でした。今、私の家でも習ったキムチをおいしく食べています。

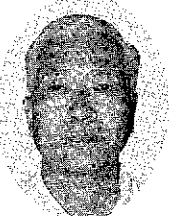
上級は在日歴が長く、日本語を「聞く」「話す」には殆ど支障がない方々の集まりです。それで、日本語を書いたり読みこなしたりする力をつけることをねらいにしています。

日本語は話し言葉と書き言語の違いがよくある言語です。漢

過疎化だ、嫁不足だ、国際化だ、生涯学習だ等に肩肘を張った議論もあるでしょう。わたしたち川西町のそれらの対策は、先に述べたいくつかの情景で説明できると思います。

外国の若い奥様方の屈託のない行動力に教えられることの多いこの頃です。

(川西町公民館運営審議会委員)



公運審活性化の方私意

田 村 達 夫

近年、公運審の形骸化が全国的に問題とされている。本県の公運審も例外ではないと思われるので、その実態と活性化策について、元十日町市公民館長田村達夫氏から指摘してもらった。

数字でみる県下公民館の人的体制

公民館は、県下の全市町村に設置され、本館の数は公立中学校数を上回る。

集会和交流の場を兼ねた、学習と文化活動の拠点として公民館は地域に定着している。

「生涯学習・社会教育の現状」(平成五・五・一現在の調査資料)によれば、本館一館当りの職員数は三・六五人で、その内、

市町村数	市	町	村	数
2	4	23	41	24
9	7	1	1	1
10	計			112

運営審議会の会議回数別市町村数

会議無しが二町村あることは驚きである。また、社会教育委員の会議の集計は四三六回で、公運審の回数を上回っている。生涯学習政策下の市町村の社会教育施策の一面を示す数字ではないだろうか。

公運審存立の意義

公民館の運営に住民の意志を反映させるために、社会教育法は公民館運営審議会の設置を義務づけている。

「館長の諮問に応じ、公民館

の各種の事業の企画実施につき調査審議する」という社教法の文言にこだわって、公運審の役割を限定的に狭くとらえる、受動的消極論が館側にも委員側にもある。

しかしこれは、文部次官通牒が説いている、住民が直接公民館運営に参加するという公民館委員会から、社教法による公運審へという脈絡でとらえるべきである。消極論は、公民館の理念と社教法の精神にもとるものである。

公運審を、実質的な館運営の中核として重視し、公民館活動の充実・発展のために積極的に活用をはかるべきである。

公運審活性化の問題

もしも、民意反映機関としての公運審が形骸化するならば、公民館の運営は「任命によって一時期に限りここに勤務する職員」の、そのときの方針や態度によって左右され、住民の心や活動が館から離れて行くおそれがある。(「全公運」生涯教育時代に即応した公民館のあり

方)との傾聴すべき指摘がある。このような事態を未然に防ぐには、現存の公運審の体質の改善をはかる必要がある。

委員の選考については、各号委員の構成比は適切であるか

・二号委員として、幅広い分野の団体・機関の代表者が選出されているか

・大団体に片寄ることなく、実際に公民館を利用してグループの代表が選出されているか

・単に、肩書きによる代表でなく、社会教育・公民館の理解者であるか

・学歴経験の選考基準は明確であるか

・性別、年齢、地域性等について考慮されているか

・連統選任委員の限度回数と基準は明確であるか

等が再検討を要する事項である。果たして、委員の委嘱は館長の内申に基づいて行われているだろうか。

また、委員の氏名は、ぜひ住民に周知してほしい。

運営については、公運審が機能を十分に発揮するために、まず会議回数を増加することである。そして、事

務的・形式的に会議運営をしないことである。

差当り各館が会議を一回増やし、館の現状と当面する諸問題について、館長・職員とじっくり話し合い、意思の疎通と現状把握に努めてほしい。

年間の会議回数を四回以上に、できれば六回以上に、定期開催を望みたい。また、部会や委員会の設置等による運営も一策である。

会議を突りあるものにするためには、議案・資料の事前送付についても十分配慮すべきである。

・委員に対するきめ細かな情報提供

・委員研修の充実

・委員の事業参加

も、積極的にすすめてほしい。また、教育委員会が教育長の推薦により館長を任命する際に、あらかじめ公運審の意見に聞かなければならないと社教法に明記されているが、死文と化していないだろうか。

生涯学習推進政策下、公民館はその存在さえも問われている昨今である。このような時こそ公民館は、地域の実態と課題を把握して、真に地域に根ざした活動を推進すべきである。公運審の活性化は、そのためにもぜひ必要である。

の課題を追って
の問題を探る
非常勤公民館長の問題

シリーズ 暮らし 公民館体制 公運審の活性化と

非常勤公民館長の現状と問題

本県の非常勤館長の占める割合は75%と多い。その是非は問わないが、問題がどこにあるかを明らかにすることも、「今日の課題を追って」の一環と考え、非常勤館長の実態調査(平成5年4月1日現在)結果をもとに現状と問題点を考える。(編集部)

一、非常勤館長の年齢構成

非常勤館長の年齢構成は、60歳以上の定年退職者層が82.5%と圧倒的に高い。また、「館長に委嘱される前の主たる職業」(表1参照)は学校教育関係者が多い。前者は高齢者人口の増加に対する人材活用策であるとともに、後者は公民館が教育施設であることから教育関係者を即戦力として期待されていることで多くの説明を要しないところであろう。

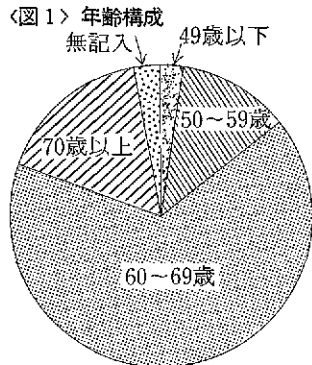
二、勤務の態様

図2は、非常勤公民館長が委嘱に当たって命じられた「勤務すべき日数」の条件と、館長自身が「実際に勤務している日数」を比較したものである。勤務の条件における「用のある日(時間)のみ」が137館で74.5%と突出している。それに対して、「実際に勤務している日数」については「用のある日のみ」の比率は28館15.2%と激減し、週当たり勤務日数の多い項目の比率がふえている。

また「現在の主要職業」について(表2参照)は、館長職だけに専念している割合が50%(このうち名誉職21%が含まれている)。

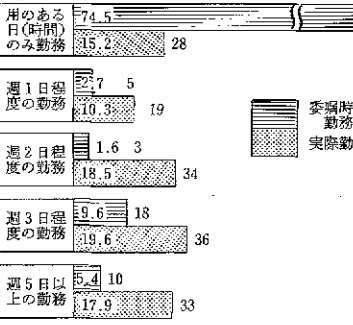
これはどう解釈すべきなのであるうか。むしろ、公民館のおかれている条件(中央公民館と各地区館の違いや、行政と公民館との未分化の状況など)によって一律に断定することはできないが、職員は行政上の縦系列で事務処理を行っており、非常勤館長は事業を進めるうえで

の相談役であったり、「あいさつ要員」であったりと、実務者としてではなく、名誉職として扱っている証左ではあるまいか。にもかかわらず、館長の多くは定年退職者層の持つ「仕事に対する喜びや責任感、誠実さ」などで、命じられた出勤日数以上に出勤しているであろう。ある非常勤公民館長が次のように呟いていたことを思い出す。「私のところは地区館なので、事業の計画立案から実施に至るまで館長の責任でやらねばならない。事業を活発にしようと思えばどこまでもやれる。大変やりにがある。そのため、つい毎日出勤することになる。そればかりでなく、毎日公民館に顔を出していないと、職員との意思の疎通が図れなかったり、仕事の進み具合が分からなかったり



この相役であったり、「あいさつ要員」であったりと、実務者としてではなく、名誉職として扱っている証左ではあるまいか。にもかかわらず、館長の多くは定年退職者層の持つ「仕事に対する喜びや責任感、誠実さ」などで、命じられた出勤日数以上に出勤しているであろう。ある非常勤公民館長が次のように呟いていたことを思い出す。「私のところは地区館なので、事業の計画立案から実施に至るまで館長の責任でやらねばならない。事業を活発にしようと思えばどこまでもやれる。大変やりにがある。そのため、つい毎日出勤することになる。そればかりでなく、毎日公民館に顔を出していないと、職員との意思の疎通が図れなかったり、仕事の進み具合が分からなかったり

〈図2〉非常勤公民館長の勤務の態様



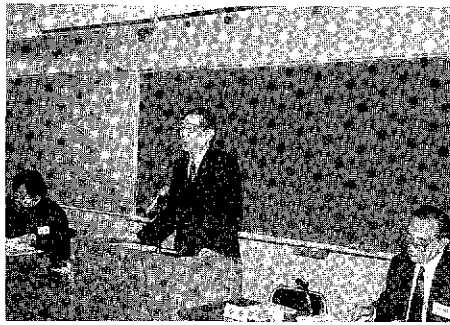
の疎通が図れなかったり、仕事の進み具合が分からなかったり

で不安なのだ」と。この発言が説明し尽くしているようである。

三、非常勤公民館長の待遇
非常勤公民館長の報酬の場合費用弁償方式が多いため、月額などの定額として集計しにくい点があり、一覧表は作成しなかったが、概括すると、月額に換算して10万円から12万円が13人で7%、15万以上が12人で6.6%である。その他の86%強が5万円以下の低額報酬に集中している。(5万円程度の報酬が67人37%と圧倒的に多く、1万円程度が31人17%、3万円までが47人25%)。このような処遇は、前述の「名誉職」扱いによる「あいさつ要員」としてしか評価されていないことを示しているのではあるまいか。

報酬の多寡は公民館長への信頼や尊敬のパロメーターにもなるものであり、公民館それ自体の価値が評価されているものでもある。

四、おわりに
近年の本県の非常勤公民館長は、「あいさつ要員」という表現に不快感を示す人が多くなっている。それだけ館長としての仕事に真剣に打ち込んでいるということがある。そうした館長の真にプライドの持てる待遇を得られるよう、理解を深める努力が必要である。

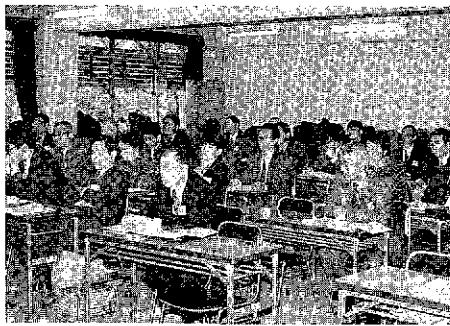


高村教授による基本講義

一月十九日、前日から降り始めた雪で久しぶりに雪化粧した新潟から、朝早く新幹線に飛び乗り、東京渋谷の国立オリンピック記念青少年総合センターへ到着した。というのは、二泊三日の全国公民館連合会主催の第五回「生涯学習推進研究協議会」(通称公民館全国セミナー)に参加するためであった。

開会一時間近く前に着いたため、時間をつぶそうと一階の談話コーナーに入ったところ、世界各国の大勢の人々が椅子に座って談笑していた。なんだか外国へきたような気分であった。この光景は、食堂でも宿泊棟でも同様であった。

そんな気分を味わいながら四階の会場に入ると、参加者のほとんどが男性陣。その中に、一



熱心に聴きいる参加者

人の女性を見つつけその隣の席に腰をおろした。参加者名簿を見ると三十四人中女性は、私と隣の彼女(田村さん)といふ福井市の公民館勤務二十二年目のベテラン)の二人だけで少し寂しい気がした。余談になるが、参加者名簿の生年月日欄が女性だけ空欄になっており、事務局側の気配り(?)に思わず微笑んだ。

さて、前置きが長くなってしまったが、早速研究会の内容を感想を交えながら報告する。研究テーマは、「生涯学習の推進体制と公民館」で、「施設ネットワーク



秋山 恵子

クの中核として可能性を求めて」というサブテーマがつけられていた。つまり、市町村における社会教育施設・機関・団体はもろろん、首長部局・民間の生涯学習関連機関等とのネットワークの形成へ、公民館がどのような役割を担っていかばいいのかについて研究協議するものであった。

第一日目の「基本講義」(講師は流通経済大学教授高村久夫氏)では、常に学習者の視点に立ちながら学習援助システムを作っていくことは、生涯学習の

公民館全国セミナーレポート 公民館施設ネットワークの中核に

観点から当然なことであるが、ともすると、忘れがちになるという指摘を受けた。また、学習者の学習需要や学習レベルが多様化してきたため、もはや公民館だけではそうした状況には対応できなくなりつつあり、そのために他の教育資源とネットワークしていく必要性が生じてきているという経過を分かりやすく話された。講師から、生涯学習の推進のために、公民館が実質的なネットワークの中核的な役割を果たすよう頑張っ

とを相手側に具体的に示しながら、地域や住民のためになる機能的ネットワークの組織づくりを心がけてほしいということであった。

この他に、現地研修として、東京都荒川区町屋文化センターを訪問したり、「集団と個」というテーマで、動物行動学の第一人者である京都大学の日高名誉教授のユーモアあふれる特別講義を拜聴するなど、大変中身の濃いセミナーであった。

また、一日目の夕方に催された懇親会の席上で、昨秋視察で新潟市を訪ね、世話になったと礼を言われたり、良寛様が好きで新潟のゆかりの地を訪ねて感激したなどと、多くの方に声をかけられ恐縮するなど楽しい情報交換の場も設定されていた。

最後に、今後生涯学習推進のために公民館が中核としてネットワークづくりに取り組んでいくことが要請されているのと同様に、公民館職員として、このような全国レベルの研究会に積極的に参加し、人とのネットワークを広げながら仕事を見つめ直していくことの大切さを感じた。この研究会で学んだことを一人でも多くの職場の仲間へ伝えていきたいと思っている。

(新潟市坂井輪地区公民館 社会教育主事)

サークル交流

ダンスは楽し

山古志村 ダンスクラブ

リズムに乗って心がリラック
スしている瞬間、音楽の持つ不
思議なパワーに驚かされます。

公民館講座として始まった社
交ダンスに、ついのもりこんで
しまった仲間達が独立したのを
きっかけに、私たちのクラブは
10年ほど続いています。

これまでメンバーの交替を繰
り返しつつ現在は40代を中心
26人で、このうち夫婦が半数近
くを占め、和やかで家庭的な雰
囲気の中で活動しています。

年に数回のパーティーを開

き、小千谷市、小国町など近隣
市町村の同好の方達と交流を図
る一方、月に何度かはダンスス
クルールの先生を講師に技術の向
上?を目指しています。また、
時には多くの方からダンスの楽
しさを知ってもらおうと初心者
教室も行なっています。

相手のあるダンスのこと、
シューズを履き、ドレス・シャ
ツで決めるとき、背筋が伸びて
ちよつと気分が華やきます。「始
めませんか?」といつも口にし
る仲間達です。

(山古志村ダンスクラブ
長島世津子 記)

楽しんでます

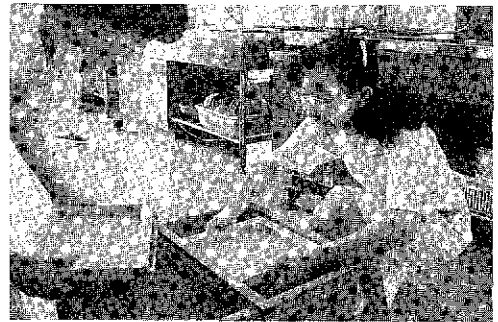
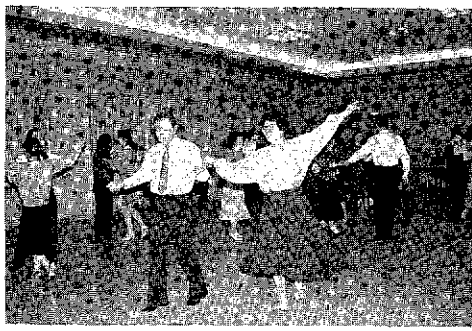
生涯学習

あらい紙すき工房

グワァー、グワァー!

紙すき工房の日、公民館の調
理室は、朝からミキサーの音が
響きます。市民大学講座として
スタートし丸二年になります。

会員は十二名、それぞれの個
性とアイデアを持ち寄り、当初
想像もできなかった立派な物が
漉ける様になりました。牛乳
パックからの再生ですから限ら



れたものになります。葉書だ
けでは飽き足らず、他施設見学
などで工夫し、封筒、便箋、色
紙、短冊、名刺、扇面と、作品
が次々に発展しました。すき梓
は、会員のご主人が何回も思索
し、作って下さいました。

植物の葉を苛性ソーダーで
煮、葉脈を残した物を漉き込ん
だりもします。女性フェステイ
バルで販売もし、多くの方に楽
しまれ、新しい出会いも生まれ
ました。「次は手描きの絵を入れ
たいね。」夢は限りなく広が
ります。

失敗あり、笑いあり……私達
は今まさに生涯学習の真つ只中
に居る事に感謝しています。

(新井市公民館
田中康子 記)

新発田市公民館館主事

山口恵子 氏

平成5年4月、育児休業法適
用が明け、健康増進育成課から
異動してきました。

公民館では、文芸しばた、高
齢者学級、チビッ子創造教室を
担当して、楽しさと夢をモッ
トに、子供たち一人ひとりに
カジュアルなスキップで接
しております。心優しく快活で



人の気持を
引きつけて
いくものが
あります。
それにもう

一つ付け加えると人柄の良さで
す。その人柄の一つに表われて
いるのが笑顔で、周囲をさわや
かなものにしてくれています。

電話の冒頭に必ず挨拶の言葉
が入ります。これは、「心ごと
も言いましょか、人と人との
付き合いのスタートであると思
います。人間関係を大切にする
館の中で、不動の意志の持ち主
であります。

二年めの今年、更に磨きか
かかると思っています。
(新発田市公民館
雨宮文子 記)

素顔拝見

新発田中央公民館事業係

桜井朋子 氏

名は体を表わすとか、健康そ
のものとにかく明るい。でも
反面ナイーブで、相手の立場に
立って考え行動できる人。

彼女は笑顔がとてもいい。彼
女の笑顔は彼女にとって最良の
武器といえるのではないだろう
か。人なつこく、老若男女を問
わずファンが多い。彼女指名の
テレコールも後をたたない。

新卒で初めての職場がここ中
央公民館。右も左もわからずに
は超ベテラン。よく気が付き、



仕事も早く
中央公民館
を代表する
顔となっ
ている。担当
は乳幼児と青少年事業、団体育
成を主にしている。

つい最近のこと、肩まであつ
た髪を切った。何かあったのか
と周りは湧き立ったが、本人は
一向に気にせず、今日も明るい
笑顔振りまいている。ただ今
人生のパートナー募集中。ただ
し、男性に限る。

(新発田中央公民館事業係長
田村富美子 記)

中越地区公民館長・主事研修会開催

三条市中央公民館を会場に



平成6年2月7日、中越地区公民館長・主事研修会が三条市中央公民館を会場に開催された。研修主題は「地域に根ざした公民館の在り方を求めて」におき主幹の三条・加茂・南蒲のブロック公連の緊密な協力による充実した研修会が展開されていた。

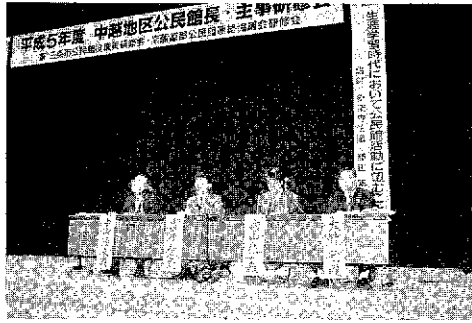
まず、開会式の冒頭での「公民館の歌」(自由の朝)の斉唱にすがすがしい印象、小林会長の「今、変革の時代にあつて、変わらないのは公民館だけと言わ

れないように」との開会のあいさつ、横尾社教課長(中越教育事務所)の「生涯学習推進の中心施設としての公民館はより質の高い学習が望まれる」という来賓あいさつが、それぞれ公民館への期待の言葉として印象に残った。

なお、研修の主役としての事例発表の内容と発表者は次のとおりであつた。

- 事例発表 ▲敬称略▼
- 加茂市公民館の管理運営 加茂市公民館長 中山 隆夫
- 地域に根ざした公民館のあり方 中之島町公民館長 小坂井 昭吾
- 「フレッシュ講座」の取組について 三条市嵐南公民館副参事 内山 信一

- 地域性を取り入れた公民館活動をめざして 下田村中央公民館主事 大竹 稔
- 中越教育事務所社会教育課副参事 須藤 輝夫



平成六年度公民館

施設補助予算決まる

「公民館補助の重点化」を表明

平成六年度の公民館施設補助予算が、つぎの通りとなつた旨、全国公民館連合会から速報が入つた。

区分	平成6年度概算査定	平成5年度予算額
公民館	3,511百万円 (47館@50,000千円) (過疎分15館) (経過措置分43館)	4,391百万円 (134館@31,500千円)
大型公民館	1,020百万円 (12館@85,000千円)	510百万円 (6館@85,000千円)
合計	4,531百万円	4,901百万円

なお、補助金交付に当たつての基本的考えが次のとおり示されたので関係者に周知してほしい旨全公連から連絡があつた。

- ① 補助対象の最低必要面積を三百三十㎡以上から七百五十㎡以上とし、一館当たりの平均単価を増額する。
- ② 市町村における生涯学習センターとして的大型公民館についての館数増を図る。
- ③ 六館・十二館
- ④ 過疎、離島など特別な事情を有する地域に整備する場合は、従前どおり、三百三十㎡以上を補助対象とする。
- ⑤ 施設規模七百五十㎡未満の公民館整備に支障を生じないよう必要な地方財政措置が講じられるとともに、平成六年度においては所用の経過措置を講じる。

◆公民館全国セミナーとは
六面に掲載の秋山恵子さんによるレポートにある「公民館全国セミナー」というのは、全国公民館連合会主催で、毎年一回開催している「生涯学習推進研究協議会」のことです。

このセミナーは、都道府県から、中堅職員(館長も含む)一名が推薦により参加し、新しい公民館のあり方について研究協議するものです。

経費面では、東京までのアシ代だけは市町村負担ですが、二泊三日の宿泊費その他の諸経費はすべて全公連もちというまことに恵まれた研修の機会です。

第六回セミナー(平成七年、月下旬)に参加希望の向きは、今から当県公連事務局へ名乗りをあげてください。後日(十一月以降になるもよう)一定所式により書面で申し込んでいただきますし、希望者多数の場合は選考により推薦することになります。(上村 記)

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 細川 正博
編集人 事務局長 上村 捨一郎
【定価1部130円 年共1,560円】